

令和 5 年 11 月 1 日

大阪府・大阪市 I R 推進局長 様
大阪港湾局長 様

大阪 I R 株式会社
代表取締役 エドワード・パウワーズ
代表取締役 高橋 豊典

実施施工計画書等の提出について

標題について、以下の工事の着手にあたって、大阪・夢洲地区特定複合観光施設用地に係る土地改良事業に関する協定書第 14 条第 1 項及び第 2 項に基づき、次のとおり実施施工計画書等を提出します。

記

1. 工 事 名 称 液状化対策工事（地盤改良工事）(BlockB)
2. 実 施 内 容 高層棟 仮設工（仮設雨水排水工）
3. 提 出 資 料
 - ・ 実施施工計画書等 一式

以上

大阪・夢洲地区特定複合観光施設用地に係る土地改良事業
液状化対策工事(地盤改良工事)

仮設工(高層棟)
(雨水排水)
施工計画書

2023年 11月

竹中工務店・竹中土木共同企業体

目 次

第1章	工事概要	P.1
第2章	計画（詳細）工程表	P.8
第3章	主要船舶、機械	P.9
第4章	主要資材	P.10
第5章	施工方法	P.11
第6章	施工管理計画	P.17

第1章 工事概要

1-1. 工事概要

大阪・夢洲地区特定複合観光施設用地に係る土地改良事業 液状化対策工事の内、高層棟地盤改良工事に伴う、仮設工（雨水排水）の計画書とする。

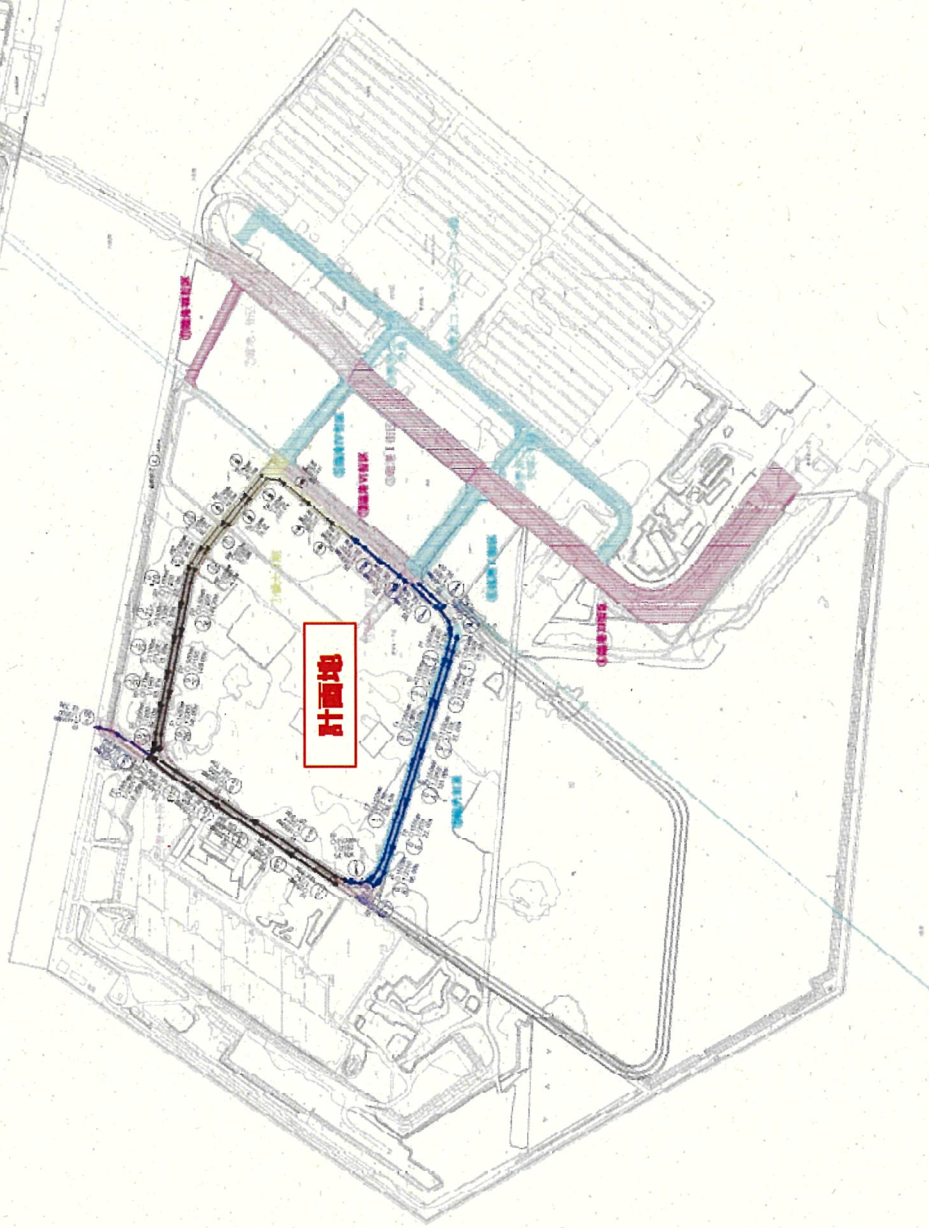
1-2. 工事数量

工種	適用	単位	数量
掘削		m3	54.1
塩ビ管据付		m	17.4
1号人孔設置		基	2.0
軽量鋼矢板		m	22.0

位置図

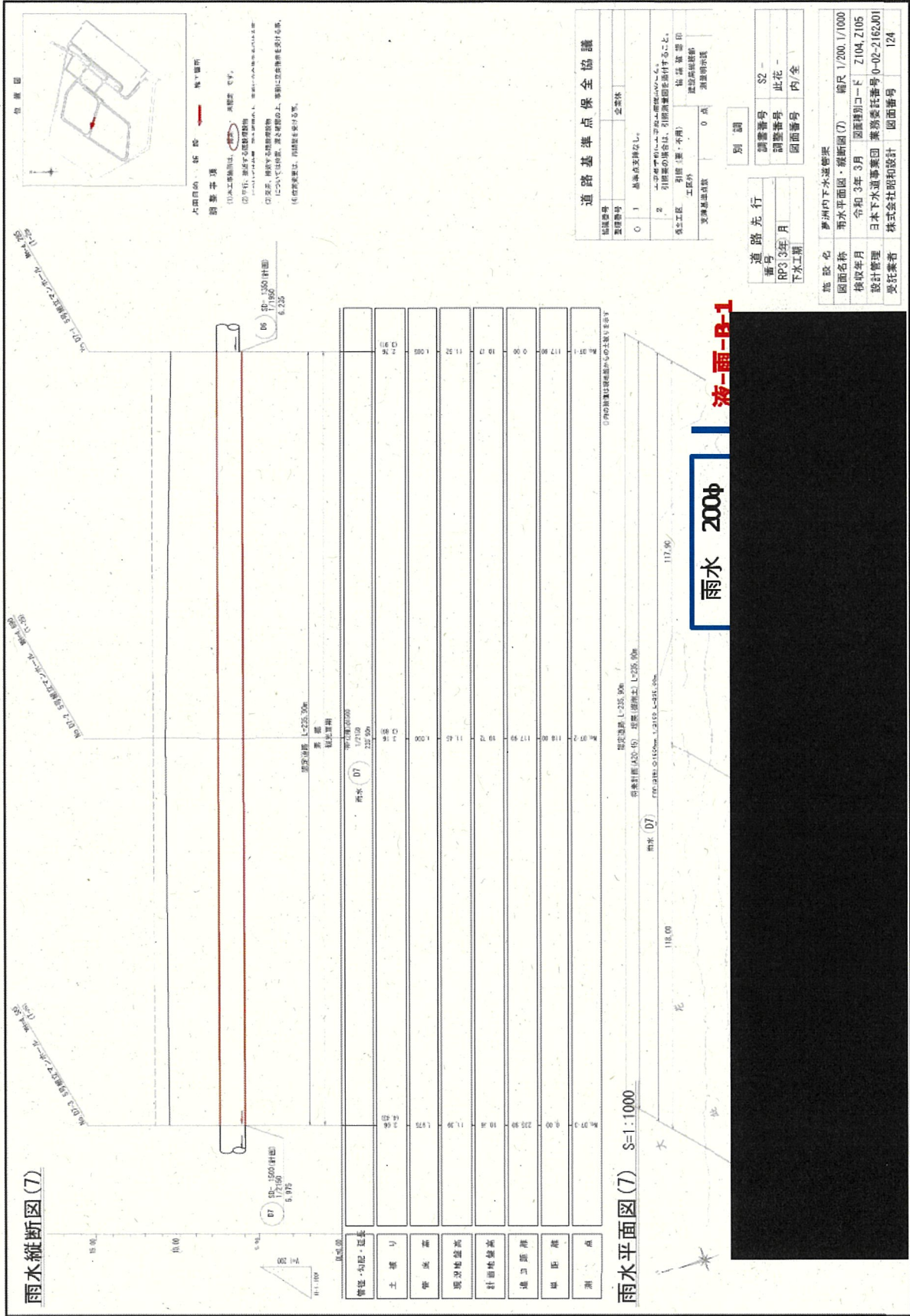


雨水位置図 S=1:0000



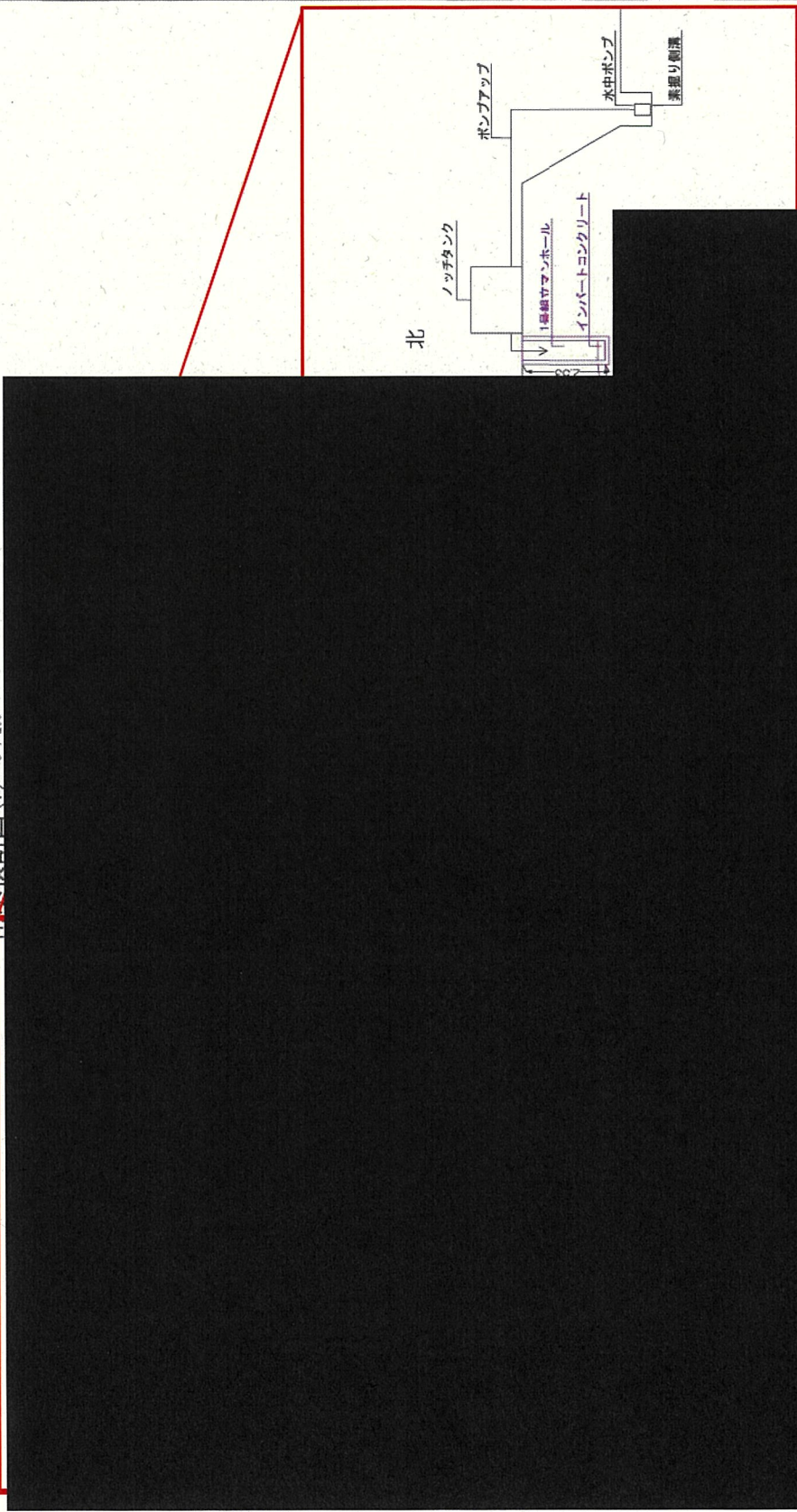
施設名	夢洲内下水道管渠	縮尺	1/1000
図面名称	雨水位置図	原簿割コード	Z 03
作成年月	令和 3年 3月	図面番号	0-22-2(EJ0)
設計者	日本下水道事業団 陸奥支社	設計者	株式会社昭和設計
図面番号		図面番号	111

■排水設備計画の計画図 (Bブロック)



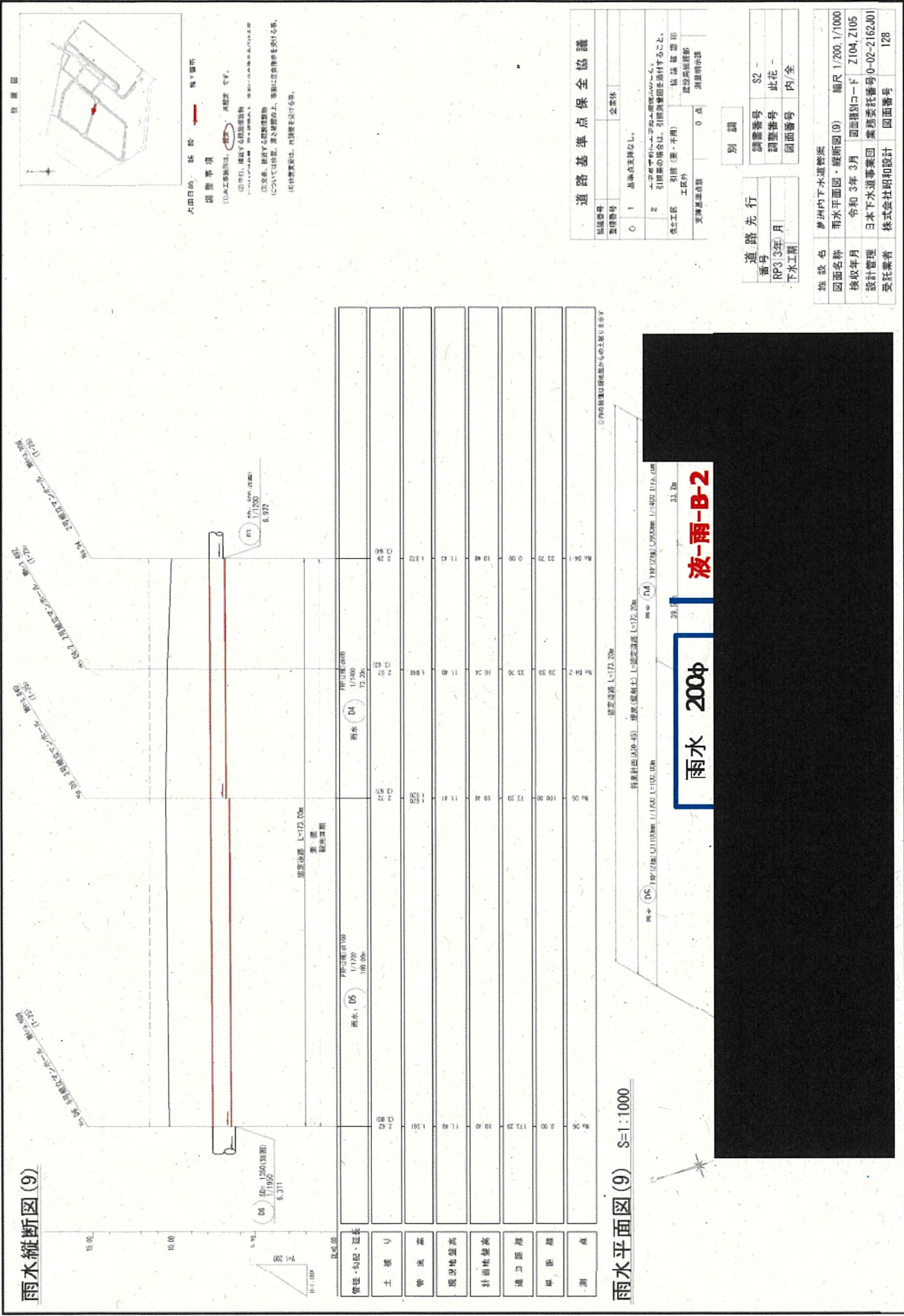
■排水設備計画の計画図 (Bブロック)

雨水横断図(7) S=1/200



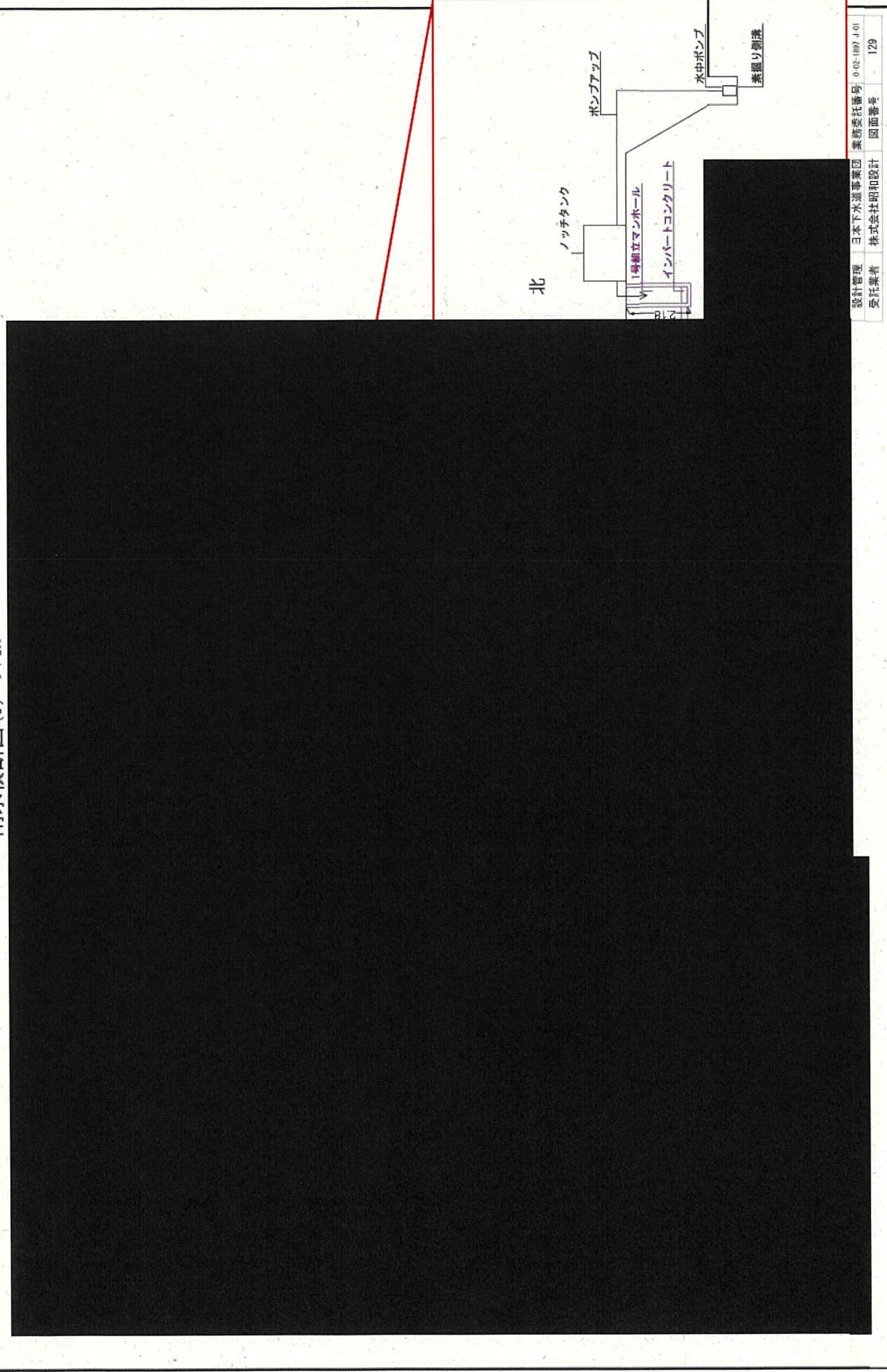
別調	
道路先行 番号	調整番号 S2 -
令和3年 月	調整番号 此花 -
下水工開	図面番号 内/全
施設名 豊州下水道管理	
図面名称 雨水横断図(7)	縮尺 1/200
換取年月 令和3年3月	図面識別コード Z105
設計管理 日本下水道事業団	業務委託番号 000-100 J-01
受託業者 株式会社昭和設計	図面番号 125

■排水設備計画の計画図 (Bブロック)



■排水設備計画の計画図（Bブロック）

雨水横断図 (9) S=1:200



設計管理 日本下水道建設株式会社 図面番号 129
 業務委託番号 000-100-101

第3章 主要船舶・機械

機 械 名	型 式 ・ 規 格	指定項目			単位	数量	使 用 工 種	使 用 期 間 (月)												備 考
		低騒音	低振動	排出ガス				12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
バックホ	0.45㎡(クレーン使用)	○	○	○	台	1	土工、人孔・管布設	■												
トラッククレーン	4 t				台	1	資材運搬	■												
ダンプトラック	3 t				台	1	土砂運搬	■												
振動ローラー	700kg				台	1	埋戻工	■												
タビングランマー	60kg				台	1	埋戻工	■												
エンジンカッター	K650				台	1	排水管切断	■												

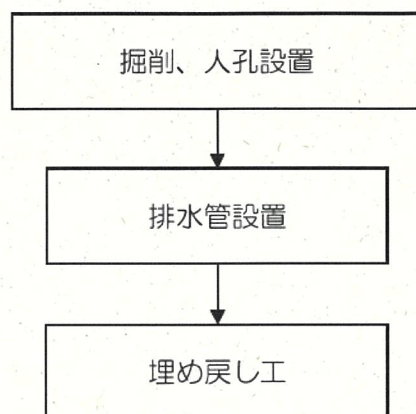
第4章 主要資材

主要資材一覧表

使用材料	摘要	単位	数量
鉄蓋	大阪市型	個	2.0
固定ボルトナット		セット	2.0
調整リング	H=50	個	1.0
調整リング	H=100	個	2.0
1号人孔斜壁	H=600	個	2.0
1号人孔直壁	H=600	個	1.0
1号人孔直壁	H=900	個	3.0
1号人孔底版	H=130	個	2.0
塩ビ管用削孔	φ 200用	個	2.0
ゴム輪受口直管	SRA φ 200	本	6.0
塩ビ管用削孔	φ 150用	個	2.0
塩ビ管用削孔	φ 100用	個	2.0

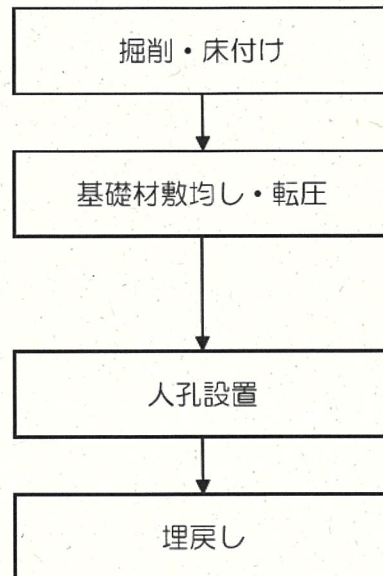
第5章 施工方法

【雨水排水施工フロー】



5.1 人孔設置

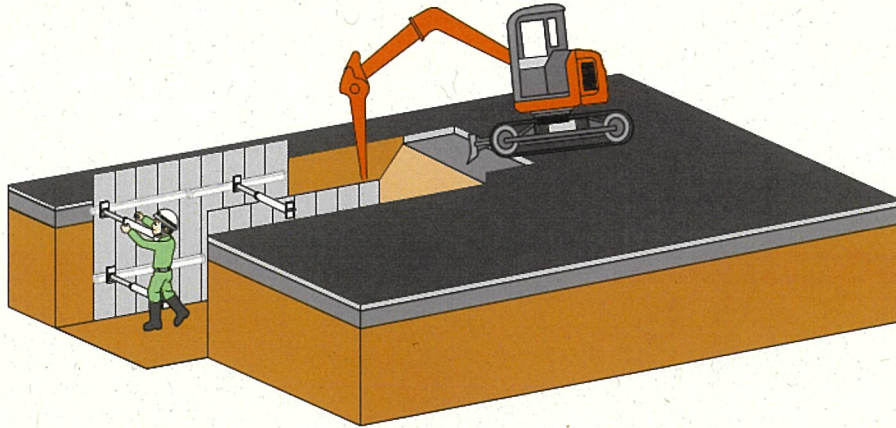
【施工フロー】



施工手順

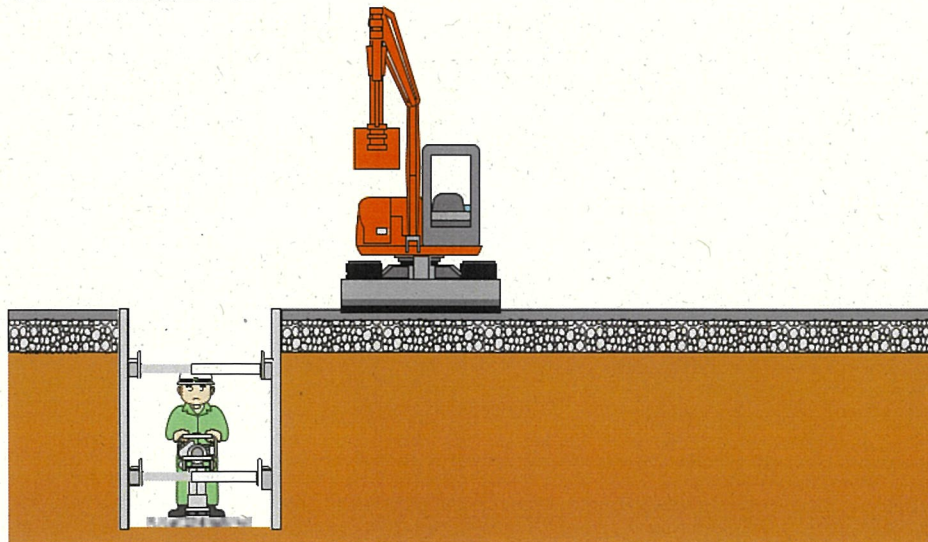
6.1.5.1-1 掘削・床付け

- 断面図より埋設管の深さを確認し、埋設明示テープを確認した場合、人力掘削にて埋設配管を確認する。埋設明示テープが無い配管も有るため、30cm程度の探り堀りを行いながら掘削を行う。
- 掘削は0.45m³級バックホウにて行い、床付けは床を乱さないように人力にて行う。
- 床付け時、やむを得ず過掘りを行った場合については床付け面土質と同等以上の材料にて埋戻し、転圧を行い床仕上げを行う。
- 工事に支障のある湧水及び滞水等は、ポンプあるいは排水溝を設ける等、適切な方法で排除する。
- 掘削に際し、想定外の地下埋設物を発見した場合は埋設物の管理企業と協議し、必要があれば人力により試掘を行い埋設物に損傷を与えないように十分注意する。
- 掘削施工時、掘削深さが1.5m以上のある場合にはアルミ矢板、腹起し及び水圧ジャッキを使用した簡易土留めを行い、掘削面の崩壊を防止し、溝内作業の安全を確保する。



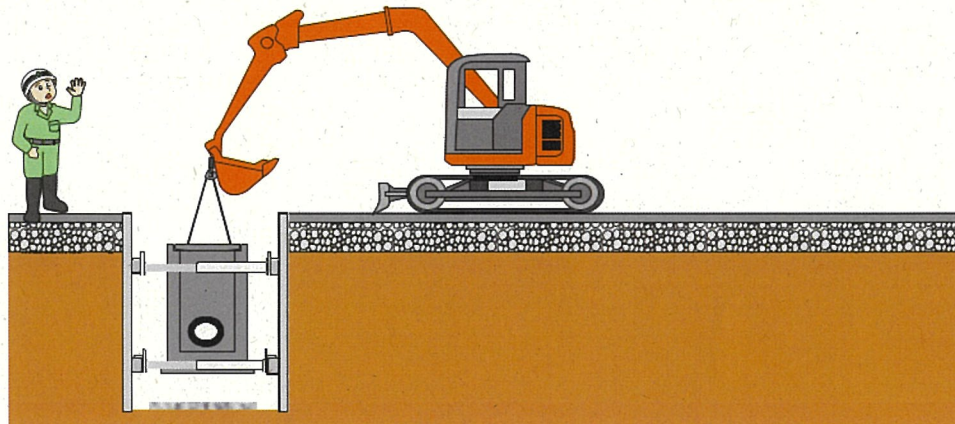
6.1.5.1-2 基礎材敷均し・転圧

- 基礎材はC-40を0.45m³級バックホウにて投入する。
- 投入後は人力で所定の幅・厚さを確保するよう敷き均し、タンピングランマ及びプレートコンパクタにて十分締固める。



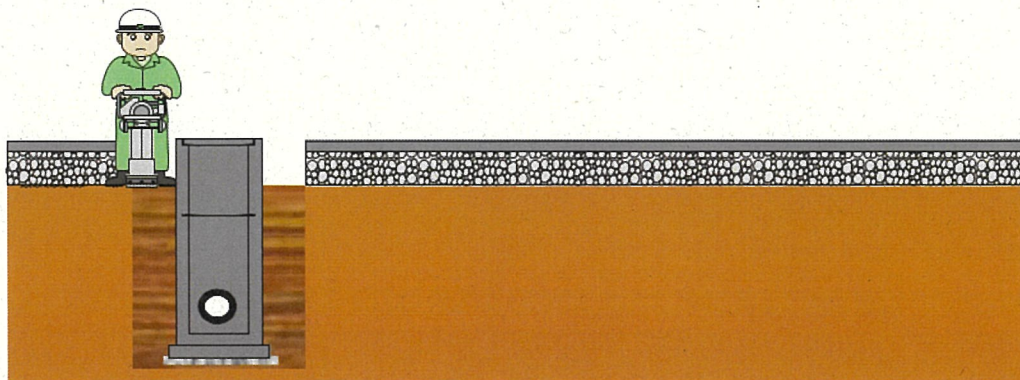
6.1.5.1-3 人孔設置

- ・ 人孔入荷の際は形状、寸法の確認を行い、ひび割れ等の損傷がないか検査を行う。
- ・ 削孔位置は流出入管、管径、流出入数、流出入角度、落差などに適合するように定める。
- ・ 穿孔は管取付壁及び直壁ブロックに行うものとし、斜壁ブロックには削孔しない。
- ・ 穿孔部相互及び穿孔部と部材縁との離隔は、製造団体の規格を確認する。
- ・ 削孔は原則として、製造工場で行うものとする、なお、これにより難しい場合は監督職員と協議する。
- ・ 人孔の設置位置は、オフセット及び明示杭などで確認できるようにしておく。
- ・ 設置は、0.45m³級バックホウ（クレーン仕様）にて行い、玉掛け作業には十分注意し丁張りに従い高さ及び通りを確認しながら設置する。
- ・ 人孔の設置面が水平になるように、基礎碎石の上に砂を人力で敷均す。
- ・ 人孔と排水管との隙間はモルタルを詰めて塞ぎ、モルタルが乾燥するまでの間しっかりと養生する。
- ・ インポートは設計図書によるほか、接続管渠の管径、位置、流量及び流下方向と考慮の上、適切に設置する。
- ・ 鉄蓋の設置にあたっては、開閉作業に支障のないよう蝶番の位置に注意して設置する。



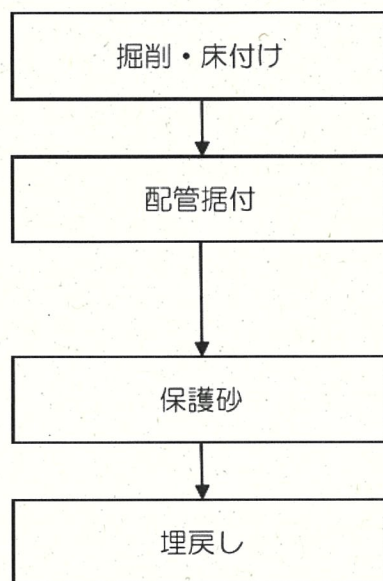
6.1.5.1-4 埋戻し

- ・ 埋戻し材料は、掘削土及び流用土の埋戻しに適した良質の土砂を使用し、埋戻し箇所は、埋戻し作業開始前に雨水・雑物を除去する。
- ・ 埋戻し材料の投入は0.45m³級バックホウにて行い、人孔に衝撃や過度の偏土圧を与えないように投入する。
- ・ 埋戻しは、中心線がずれないように左右交互に土砂を敷均す。
- ・ 各層の仕上がり厚を30cmとして埋戻し幅に応じた転圧機械を用い、十分締固めを行う。



5.2 排水管設置（VU管設置）

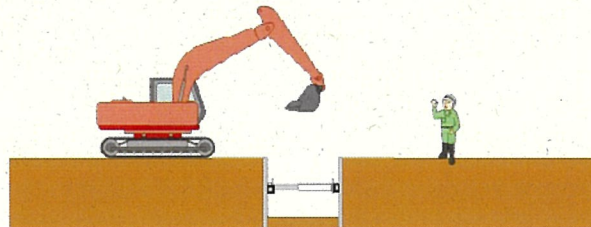
【施工フロー】



施工手順

6.1.5.2-1 掘削・床付け

- 掘削は丁張りに従い0.45m3級バックホウにて行い、床付けは床を乱さないように人力にて行う。
- 床付け時、やむを得ず過掘りを行った場合については床付け面土質と同等以上の材料にて埋戻し、転圧を行い床仕上げを行う。
- 工事に支障のある湧水及び滞水等は、ポンプあるいは排水溝を設ける等、適切な方法で排除する。
- 掘削に際し、想定外の地下埋設物を発見した場合は埋設物の管理企業と協議し、必要があれば人力により試掘を行い埋設物に損傷を与えないように十分注意する。
- 掘削施工時、掘削深さが1.5m以上のある場合にはアルミ矢板、腹起し及び水圧ジャッキを使用した簡易土留めを行い、掘削面の崩壊を防止し、溝内作業の安全を確保する。

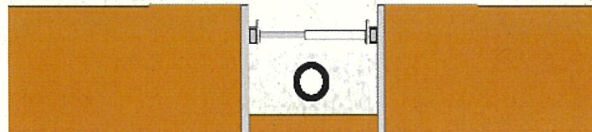


6.1.5.2-2 配管据付

- 管据付けに先立ち、管体検査を行い亀裂やその他の欠陥のないことを確認してから作業を行う。
- 管接合部については、ウエス等で清掃してから作業を行う。

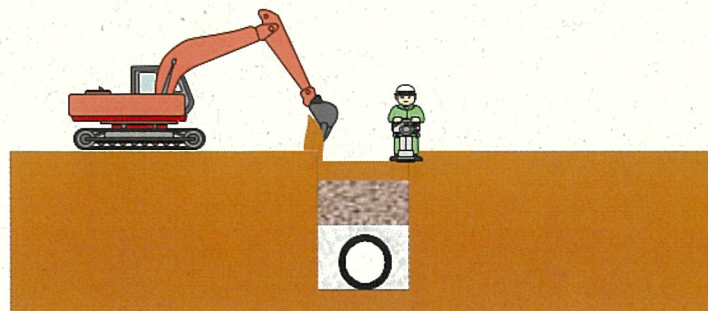
6.1.5.2-3 保護砂

- 目詰まりが無いように購入砂を均一に敷き均す。



6.1.5.2-4 埋戻し

- 埋戻し材料は、掘削土及び流用土の埋戻しに適した良質の土砂を使用し、埋戻し箇所は、埋戻し作業開始前に雨水・雑物を除去する。
- 埋戻し材料の投入は0.45m3級バックホウにて行い、排水管に衝撃や過度の偏土圧を与えないように投入する。
- 各層の仕上がり厚を30cmとして埋戻し幅に応じた転圧機械を用い、締め固めを行う。

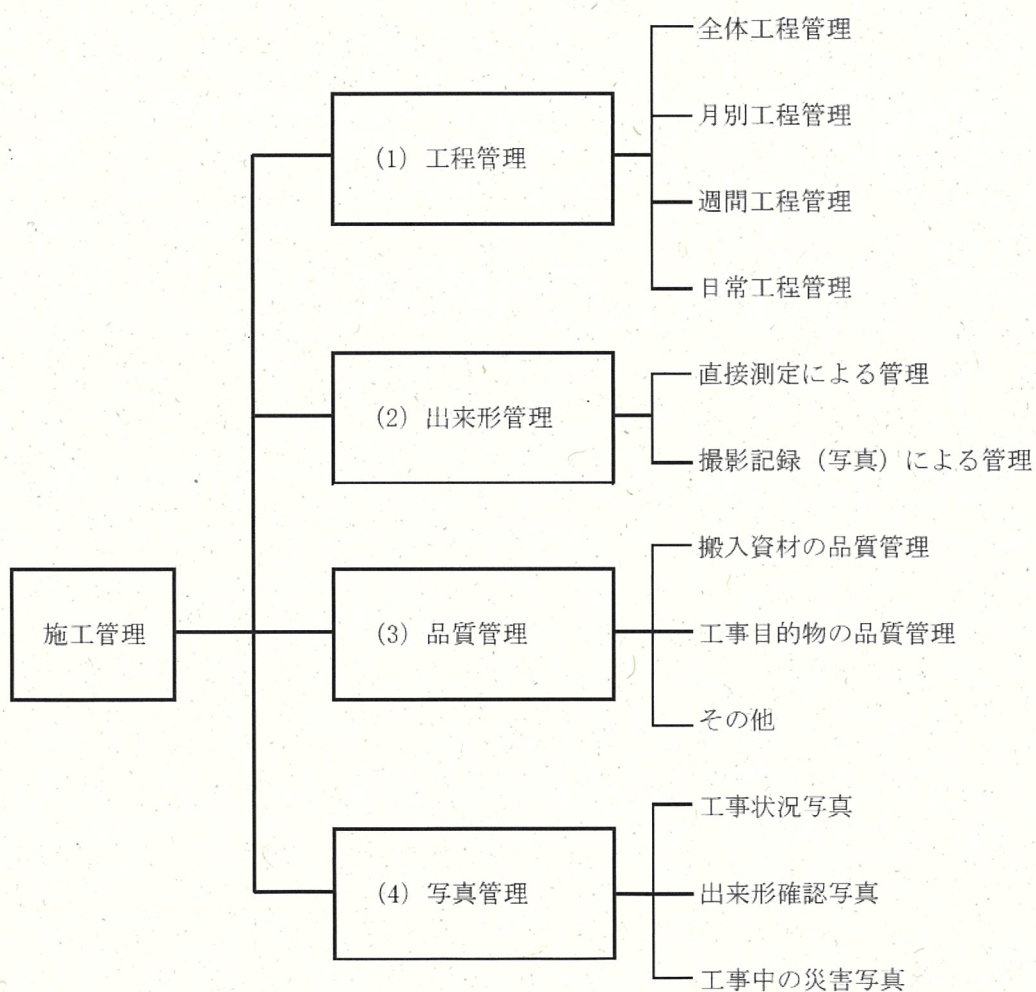


第6章 施工管理計画

1. 概要

工事施工に当たり、設計図書・大阪港港湾工事共通仕様書及びその他の関係図書に基づき工事目的物をより精度良く、工期内に竣工するように日々管理することを目的とする。

2. 管理内容



(1) 工程管理

工事施工に当たり、別紙工程表により全体工程を把握して、工期を左右する重要工程を十分に検討し、作業前日に翌日の作業内容を確実にチェックし、資材・機材の調達はもちろん、作業方法を密に打合せ作業指示書で作業内容を明確にし、その日の作業量を確実に行うように日々努力する。

(2) 出来形管理

設計図書・特記仕様書・土木工事共通仕様書に基づいて出来形管理を行い仕様書の**管理基準**を十分に把握し、**確実に設計寸法を確保する。又、構造物の位置については設置後、再度チェックし設計図書と相違ないか確認する。**

出来形管理をするにあたって、以下の事項を常にチェックし安易なミスが生じないよう心がける。

出来形管理基準は、19ページに示す。

(3) 品質管理

設計図書・特記仕様書・土木工事共通仕様書に基づいて品質管理を行い、仕様書の**管理基準**を十分に把握し、期待する品質を確保する。

品質管理基準は、23ページに示す。

(4) 写真管理

撮影は工程に合わせた撮影方針を決め、撮影時期を逃すことなく撮影する。不可視部分の撮影においては鮮明かつ明瞭に撮影し、早急に確認して写り具合の悪い物があれば**直ちに撮り直す。又、仕様書による撮影基準を十分把握して、計画に従い撮影する。**

写真管理基準は、30ページに示す。

6.2 出来形管理

雨水排水の出来形管理は次項の通り行う。

28 下水道施設土木工事施工管理基準(案)

大 阪 市 建 設 局

該当箇所を で囲む

9-1別表(中)表管理基準及び規格欄(管線施設工事)

区分	工 種 (和 用)	管 線 区 間				管 理 基 準
		管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	
管 線 工 (改 入 上 等)	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 理 基 準
	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	
管 線 工 (改 入 上 等)	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 理 基 準
	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	
管 線 工 (改 入 上 等)	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 理 基 準
	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	
管 線 工 (改 入 上 等)	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 理 基 準
	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	

管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 理 基 準
管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 理 基 準
管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 理 基 準
管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 理 基 準
管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 理 基 準
管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 線 区 間	管 理 基 準

6.3 品質管理

雨水排水の品質管理は次項の通り行う。

28 下水道施設土木工事施工管理基準(案)

大 阪 市 建 設 局

該当箇所を で囲む

10-2.別表「品質管理基準及び規格値」(管路施設工事)

区分	工種	品名・区分	管理項目	品質管理方法及び
管	管	材	外観	目視による。
			形状・寸法	
			性能	JISWAS K-1の規定による。

管理基準	規格	管理方法	写真等												
〔外観検査〕 (1)日本下水道協会「認定調査」の表示があること。 (2)検査項目及び判定基準は次のとおり。 <table border="1"> <tr> <th>検査項目</th><th>判定基準</th></tr> <tr> <td>有害なきず</td><td>管の強度や水密性に悪影響を及ぼす恐れがあるものを除く。</td></tr> <tr> <td>留め金</td><td>押さえるが固着していないこと。</td></tr> <tr> <td>割れ</td><td>著しい割れがないこと。</td></tr> <tr> <td>管の断面形状</td><td>他の断面は、実用的に下水道管の断面形状とし、その断面形状と一致し、断面でなければならぬ。</td></tr> <tr> <td>実用上の試み</td><td>実用上、試みすべきである。</td></tr> </table>	検査項目	判定基準	有害なきず	管の強度や水密性に悪影響を及ぼす恐れがあるものを除く。	留め金	押さえるが固着していないこと。	割れ	著しい割れがないこと。	管の断面形状	他の断面は、実用的に下水道管の断面形状とし、その断面形状と一致し、断面でなければならぬ。	実用上の試み	実用上、試みすべきである。	(1)塩化ビニル管を1ロットとして、その結果を記録する。 (2)(社)日本下水道協会の認定を受けた検査員が検査を実施する。	(1)「品質管理報告書」を作成し、外観検査の結果を1ロットとして、その結果を記録する。 (2)(社)日本下水道協会発行の「検査マニュアル」の写しは、検査の結果を記録する。	(1)塩化ビニル管を1ロットとして、その結果を記録する。 (2)(社)日本下水道協会の認定を受けた検査員が検査を実施する。
検査項目	判定基準														
有害なきず	管の強度や水密性に悪影響を及ぼす恐れがあるものを除く。														
留め金	押さえるが固着していないこと。														
割れ	著しい割れがないこと。														
管の断面形状	他の断面は、実用的に下水道管の断面形状とし、その断面形状と一致し、断面でなければならぬ。														
実用上の試み	実用上、試みすべきである。														

6.4 写真管理

雨水排水の写真管理は次項の通り行う。

27 工事写真帳作成要領

該当箇所を で囲む

区分	工事種別	撮影内容	撮影箇所	備 考
管 き ょ 工 (開削)・本 体 作 業 土 工	管 基 礎 工 (砂・碎石基礎)	① 基礎の締固め状況 ② 基礎出来形	①は各号線数箇 所 ②は「出来形管 理共通」による	全景も撮影
	管 基 礎 工 (コンクリート基礎)	① 基礎の打設状況 ② 基礎出来形 ③ 各打継目(差し筋)処理 状況	①③は各号線数 箇所 ②は「出来形管 理共通」による	全景も撮影
	管 布 設 工 (開削工法)	① 管の布設状況 ② 管布設出来形 ③ (上流用・下流用)マンホ ル継手の布設状況及び外 側管口出来ばえ ④ 内管口出来ばえ(寸法入)	①③④は各号線 数箇所 ②は「出来形管 理共通」による	管内面通り・管 外観及び 全景を撮影 ④は人が入れる マンホールに限る
	プレキャスト ボックスカルバート工	① 「出来形管理共通」 による	「出来形管理共 通」による	全景も撮影
	ダクタイル 鋳鉄管布設工	① 管布設出来形 ② 切管布設状況 ③ 管の接合(継手)状況 ④ 管の挿口加工状況 ⑤ 配管状況 ⑥ ポリエチレンスリーブ被覆状況 ⑦ 識別テープ設置状況	①～③は「出来 形管理共通」に よる ④～⑦は管径、 かつ施工延長 40m以内、変化 点毎	継手チェック状 況も撮影 全景も撮影
軀 体 工	型 枠	① 型枠の設置・撤去状況	号線毎、 または各箇所の 部位毎	近景及び全景も 撮影
	鉄 筋	① 鉄筋の組立て状況 ② 配筋・継手長・かぶりの 寸法		
	コンクリート	① 現場試験状況 ② コンクリートの打込み・締固め 状況 ③ コンクリートの養生の状況 ④ コンクリートの打継目の処理状 況 ⑤ 各面取り状況		

区分	工事種別	撮影内容	撮影箇所	備 考
マン ホ ー ル 工	基礎礫工	① 基礎設置状況	箇所毎	全景も撮影
	組立マンホール	① マンホールの据付状況 ② インバートの設置状況 ③ 穿孔部相互または部材縁と穿孔部の離隔測定状況	①は「出来形管理共通」による ②③各号線数箇所	③は製造団体の定める規格値の近似値となる場合に撮影
	副管設置工	① 副管の設置状況	箇所毎	
ます 工	ま 設 置 工	① ますの設置・完了状況 ② 私有管接続状況 ③ 埋戻しの締固め状況 ④ 民有物（土間等）の（不可視部）復元完了状況	「出来形管理共通」による	全景も撮影
取 付 管 工	取付管布設工	① 掘削・土留めの状況 ② 取付管の布設状況 ③ 本管、マンホール、暗渠等への支管取付状況 ④ 既設ますへの取付状況 ⑤ ます外側管口仕上げ状況		近景及び全景も撮影
補助地盤改良工	薬液注入工	① 使用機械の設置状況 ② 削孔・注入の状況 ③ 材料の納入・保管状況 ④ 観測井の設置・撤去状況 ⑤ 地下水の観測状況 ⑥ 改良効果の確認状況	注入の状況は号線毎または箇所毎 材料の納入はその都度 その他は適宜	削孔については削孔深さが確認出来る様に撮影
	高圧噴射攪拌工	① 使用機械の設置状況 ② 削孔・注入の状況 ③ 材料の納入・保管状況 ④ 改良効果の確認状況		
蓋 取 替 工	蓋取替工	① 既設マンホール蓋撤去状況 ② マンホール蓋設置状況 ③ 調整ブロック、架台ブロック据付状況 ④ 使用機器の設置状況 ⑤ 舗装切断・せん断状況	箇所毎	全景も撮影（路面との平坦性が確認できるもの） ④⑤は機械施工による工法の場合に撮影

区分	工事種別	撮影内容	撮影箇所	備 考
管きょ工（シールド）	掘 進 工	① 掘進の状況 ② 発生土の搬出状況	号線毎適宜	
	一 次 覆 工	① シールド材の装着状況 ② セグメントの搬入、運搬、組立状況 ③ ボルトの締付、再締付の状況 ④ 仕上りの状況 ⑤ 裏込め注入の状況		④は全景も撮影
	二 次 覆 工	① スチールフォームの据付状況 ② コンクリートの打設状況		全景も撮影
杭基礎工	既 製 杭 工	① 杭の形状寸法 ② 機械の組立、解体状況 ③ 杭の打設状況 ④ 杭頭処理の状況	杭の形状、種別 毎及び打込み方法別毎	
	場 所 打 ち 杭 工	① 使用機器の設置状況 ② 掘削の状況 ③ 鉄筋かご等の形状寸法 ④ 鉄筋かご等の建込状況 ⑤ コンクリートの現場試験状況 ⑥ コンクリートの打設状況 ⑦ 杭頭処理の状況 ⑧ 泥水処理の状況	杭の形状、 施工方法別毎	
付帯工	移 設 工	① 移設の状況	箇所毎	
	仮 締 切 工	① 設置の状況	設置箇所毎	
	その他付帯工	① 付帯施設等の設置状況	箇所毎	
安全管理	交通安全対策	① 保安施設の設置状況 ② 保安施設の点検状況 ③ 交通誘導等の状況 ④ 検定合格警備員を含む配置員数状況	号線毎 占用毎	全景も撮影 ④は提出された 検定合格証明書 と同一人物である ことが分かる よう撮影
	地下埋設物等 防 護 対 策	① 地下埋設物の埋設状況 ② 吊り防護及び受け防護等の状況 ③ 保安点検状況 ④ 埋戻し直前の状況 ⑤ 埋戻しの状況	箇所毎	

区分	工事種別	撮影内容	撮影箇所	備 考
そ の 他	イメージ ア ッ プ	① イメージアップのために設置 する各施設の状況	号線毎 施設毎	全景も撮影
	現場事務所	① 事務所の設置状況	箇所毎	
	資器材置場	① 置場・保管の状況	箇所毎	
	その他の工事	① 使用材料の形状寸法 ② 使用機械（重機）・機器 の設置状況 ③ 施工の状況 ④ 工事目的物の寸法	箇所毎	
	高度技術・創意 工夫・社会性等	① 使用機器の設置状況 ② 実施状況 ③ その他、内容が確認でき るもの	適宜	全景も撮影
出来形 管理共通	各 工 種	本編添付資料「28 下水道施設土木工事施工管理 基準（案）」における当該工種の写真管理基準 の規定による		工事目的物の 出来形の寸法 が容易に確認 できるように 撮影
品質 管理共通	各 種 材 料	本編添付資料「28 下水道施設土木工事施工管理 基準（案）」における当該工種の写真管理基準 の規定による		品質の検査ま たは試験の状 況が確認でき るように撮影

高層棟 雨水排水

数量計算書

竹中工務店・竹中土木共同企業体

・仮設工(高層棟)

項 目	計 算 式	数 量
・仮設雨水管接続	雨水B-1 掘削(管路部) 既設人孔接続部掘削深さH=3.31m(砂基礎0.1m含む) 新設人孔管底深さH=2.63m(砂基礎0.1m含む) 掘削幅0.8m 延長8.5m よって $(3.13\text{m}+2.63\text{m}) \div 2 \times 0.8\text{m} \times 8.5\text{m} = 20.196\text{m}^3 \approx 20.2\text{m}^3$ 砂基礎(管路部) 幅0.8m 厚さ0.44m 延長8.5m 塩ビ管控除0.314m³ よって $0.8 \times 0.44 \times 8.5 - 0.314 = 2.6775\text{m}^3 \approx 2.7\text{m}^3$ 埋戻し(管路部) 掘削20.2m³-砂基礎2.7m³-塩ビ管控除0.314m³=17.186m³$\approx$17.2m³ 掘削(人孔部) 縦1.8m 横1.8m 深さ3.04m(管底深さ+泥溜め0.15m+1号人孔底板0.13m+基礎砕石0.2m+敷モルタル0.03m) よって $1.8 \times 1.8 \times 3.04 = 9.8496 \approx 9.8\text{m}^3$ 基礎砕石(人孔部) 縦1.8m 横1.8m 高さ0.2m $1.8 \times 1.8 = 3.6\text{m}^2$ 敷モルタル 縦1.2m 横1.2m 高さ0.03m $1.2 \times 1.2 \times 0.03 = 0.0432\text{m}^3 \approx 0.04\text{m}^3$ 埋戻し(人孔部) 人孔控除(人孔直径1.1m) $0.55 \times 0.55 \times 3.14 \times 2.81\text{m} = 2.669\text{m}^3 \approx 2.7\text{m}^3$ よって $9.8 - 2.7 - 0.648$(基礎砕石m³) $-0.04 = 6.412 \approx 6.4\text{m}^3$ 雨水R-2 掘削(管路部) 既設人孔接続部掘削深さH=2.15m(砂基礎0.1m含む) 新設人孔管底深さH=2.18m(砂基礎0.1m含む) 掘削幅0.8m 延長8.9m よって $(2.15\text{m}+2.18\text{m}) \div 2 \times 0.8\text{m} \times 8.9\text{m} = 15.4148\text{m}^3 \approx 15.4\text{m}^3$ 砂基礎(管路部) 幅0.8m 厚さ0.44m 延長8.9m 塩ビ管控除0.314m³ よって $0.8 \times 0.44 \times 8.9 - 0.314 = 2.8188\text{m}^3 \approx 2.8\text{m}^3$ 埋戻し(管路部) 掘削15.4m³-砂基礎2.8m³-塩ビ管控除0.314m³=12.286m³$\approx$12.2m³ 掘削(人孔部) 縦1.8m 横1.8m 深さ2.15m(管底深さ+泥溜め0.15m+1号人孔底板0.13m+基礎砕石0.2m+敷モルタル0.03m) よって $1.8 \times 1.8 \times 2.69 = 8.7156 \approx 8.7\text{m}^3$ 基礎砕石(人孔部) 縦1.8m 横1.8m 高さ0.2m $1.8 \times 1.8 = 3.6\text{m}^2$ 敷モルタル 縦1.2m 横1.2m 高さ0.03m $1.2 \times 1.2 \times 0.03 = 0.0432\text{m}^3 \approx 0.04\text{m}^3$ 埋戻し(人孔部) 人孔控除(人孔直径1.1m) $0.55 \times 0.55 \times 3.14 \times 2.46\text{m} = 2.336\text{m}^3 \approx 2.3\text{m}^3$ よって $8.7 - 2.3 - 0.648$(基礎砕石m³) $-0.04 = 5.712 \approx 5.7\text{m}^3$	1 式

高層棟 雨水排水

実施工事見積書

竹中工務店・竹中土木共同企業体

本工事費

頁 7

費目	工種	施工名称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
		仮設工(高層棟)					
		仮設雨水排水管接続工 設置のみ (施工費: 見積)	1	式		1,324,589	明細表 第 0031 号表

竹中工務店・竹中土木共同企業体

第 0031 号表

明細表

仮設雨水排水管接続工 設置のみ
(施工費: 見積)

1 式 当り

頁 63

費目	工種	施工名称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
材料費						491,590	
		φ600铸铁蓋T-14市町章文字 防鼠閉塞がタンキ防止標番付 (見積)	2	組	75,300	150,600	(見積)
		固定ボルト・ナット (見積)	2	セット	4,200	8,400	(見積)
		組立式マンホール マンホール付属品 調整リング 600×50mm	1	個	4,320	4,320	建設物価 大阪 23年07月号 320頁
		組立式マンホール 調整リング 径600×高100mm	2	個	6,910	13,820	建設物価 大阪 23年07月号320頁 ¥6,910
		組立式マンホール (1号) 斜壁 上径600×下径 900×高600mm	2	個	30,700	61,400	建設物価 大阪 23年07月号319頁 ¥30,700
		組立式マンホール (1号) 直壁 径900×高 600mm	1	個	24,200	24,200	建設物価 大阪 23年07月号319頁 ¥24,200
		組立式マンホール (1号) 直壁 径900×高 900mm	1	個	34,500	34,500	建設物価 大阪 23年07月号319頁 ¥34,500

竹中工務店・竹中土木共同企業体

費目	工種	施工名称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	組立式マンホール						建設物価
	1号マンホール (1種)	管取付け壁 900×900mm	2	個	35,500	71,000	大阪 23年07月号 319頁
	組立式マンホール (1号)	底版 130mm	2	個	19,400	38,800	建設物価 大阪 23年07月号319頁 ¥19,400
	組立式マンホール (削孔代)	0・1号塩ビ管 200用	2	箇所	6,150	12,300	建設物価 大阪 23年07月号321頁 ¥6,150
	下水道用硬質塩化ビニル管	ゴム輪受口片受け直管 SRA φ200mm×4m	6	本	8,580	51,480	建設物価 近畿 23年07月号294頁 ¥8,580
	ゴム輪受口用滑材	(見積)	1	kg	1,090	1,090	(見積)
	リップ付きインパート継手	φ200xL=1000 (見積)	2	本	9,840	19,680	(見積)
	施工費					832,999	(見積)
合計			1	式		1,324,589	

竹中工務店・竹中土木共同企業体

高層棟 雨水排水

業者見積書

竹中工務店・竹中土木共同企業体

御 見 積 書

2023年11月1日

御中

見積総金額 ¥1,870,910

*税込み ¥2,058,001

現 場 名

TEL
FAX

見積期限 提出後1ヶ月

担当

納期 御打ち合わせ

品番	品 名	数量	定 価	単 価	金 額	備 考
	不断水割丁字管(仕切弁共) 大阪市仕様	1		331,220	331,220	
	不断水割丁字管 (平日昼間施工)	1		130,560	130,560	
	両フランジ短管 75 L500	2		18,980	37,960	
	EF片受ソフトシール仕切弁 75	2		77,680	155,360	
	PVジョイント 75	1		36,860	36,860	
	HIVP管φ75	2		5,210	10,420	
	HIVP管φ50	2		2,670	5,340	
	50×40M ポリバイ	5		39,180	195,900	
	PP管用回転式止水栓用 50	1		12,240	12,240	
	ボールタップ(ポリ玉) φ75用	1		76,700	76,700	
	大阪市メーターボックス MS-4 50～300用	1		135,270	135,270	
	メーターボックス用コンクリートブロック 50～300用	1		20,730	20,730	
	制水弁鉄蓋(大阪市) 250用 150	3		26,300	78,900	
	レジンコンクリート上部壁A 250用 150	3		12,400	37,200	
	レジンコンクリート中部壁B 250用 100	3		5,700	17,100	
	レジンコンクリート中部壁B 250用 200	3		8,600	26,400	
	レジンコンクリート下部壁C 250用 300	3		13,700	41,100	
	レジンコンクリート底版P 250用 40	3		16,500	49,500	
	サドル分水栓 配水PP用 φ75×φ40	1		47,030	47,030	
	サドル分水栓 配水PP用 φ75×φ20	5		19,470	97,350	
	管明示テープ 幅50mm	1		740	740	
	滑剤 水道用 1kg	1		1,090	1,090	
	20 用メーターボックス	1		5,200	5,200	
				計	1,550,170	

[illegible]

御 見 積 書

2023年 11 月 1 日

大阪IR株式会社 御中

(見積書有効期限 年 月 日)

TEL
FAX
e-mail
担当者

工 事 名 : 大阪・夢洲地区特定複合観光施設用地に係る
土地改良事業・液状化対策工事 (地盤改良工事)
金 額 : ￥ 8 3 2 , 9 9 9 - (直接工事費のみ)
施工場所 : 大阪市此花区夢洲中一丁目地内
施 主 名 :

摘要

内 訳 明 細 書

名 称	摘 要	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
直接工事費						
機械掘削工	簡易矢板建込あり	m3	54.10	1,974	106,793	
ダンプ・トラック運搬工	4t車	m3	12.50	1,421	17,762	
機械投入埋戻工	簡易矢板引抜あり	m3	41.60	3,805	158,288	
砂基礎設置工	杭工共	m3	5.50	5,025	27,637	
硬質塩化ビニル管設置工	φ200	m	17.40	4,747	82,597	
既設人孔削孔	0.2m～0.4m未満	孔	2.00	13,248	26,496	
基礎砕石	17.5cm～20.0cm以下	m2	6.50	1,668	10,842	
敷モルタル	モルタル配合1:3	m3	0.10	36,410	3,641	
柱立マンホール設置工	1号マンホール H=3.0以下	箇所	2.00	33,447	66,894	
管口仕上	φ200 モルタル仕上げ	箇所	4.00	6,000	24,000	
インバートモルタル仕上げ	30mm	m2	0.45	17,497	7,873	
インバートコンクリート打設	人刀打設	m3	0.10	40,584	4,058	
インバート用リブ管設置工	φ200	m	1.80	4,747	8,544	
アルミ矢板建込引抜工	H=3.0m以下	m	22.00	4,725	103,950	
アルミ矢板等損料		式	1.00	183,624	183,624	
直接工事費計					832,999	

御 見 積 書

御中

2023年11月1日

以下の通り御見積申し上げます。何卒ご注文賜りますようお願い申し上げます。

現 場 名:

納 入 先:

支払条件: 従来通り

納 期:

有効期限: 提出後1ヶ月

TEL
FAX

※法令に基づき、別途消費税を合わせてご請求させていただきます

担当者

入力者

項	品名 規格・サイズ	数量	単価	仕切金額	注記
1	固定用ボルトナットセット	2	5,300	10,600	
2	接合・施工用品 ARソープ 1kg筆付缶	1	1,400	1,400	
3	リブ付き半割継手	2	12,500	25,000	
4	φ600鑄鉄蓋T-14市町章文字 防臭閉塞ガタツキ防止蝶番付	2	105,000	210,000	
	御見積金額 (税抜)			247,000	

摘
要

御中

<件名>

(本書に記載の金額には消費税は含まれておりません)

工 事 名 称

納入時期：別途御打合せ

御 引 渡 場 所：別途御打合せ

御 支 払 条 件 : 従 来 通 り

御見積有効期限：30日間

その他備考：

(注) 御契約後原材料その他仕変更等により価格が甚だしく高騰致しました旨は価格改定を御認め願います。

TEL
FAX

營業担当

1/1

明細書

(単位：円)

[illegible]

御見積書

2023年 11月 1日

大阪IR株式会社 御中

工 事 名 : 大阪・夢洲地区特定複合観光施設用地に係る
土地改良事業・液状化対策工事(地盤改良工事)

見 積 金 額 : ￥ 839,919-(直接工事費のみ)

施 工 場 所： 大阪市此花区夢洲中一丁目地内

TEL
FAX

名 称	項 目	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
直接工事費						
機械掘削工	簡易矢板建込あり	54.10	m3	2,000	108,200	
ダンプトラック運搬工	4t車	12.50	m3	1,500	18,750	
機械受入埋戻工	簡易矢板引抜あり	41.60	m3	3,800	158,080	
砂基礎設置工	材土工	5.50	m3	5,020	27,610	
硬質塩化ビニル管設備工	φ200	17.40	m	4,790	83,346	
既設人孔削孔	0.2m~0.4m未満	2.00	ヶ	13,300	26,600	
基礎砕石	17.5cm~20cm以下	6.50	m2	1,680	10,920	
敷モルタル	モルタル配合1:3	0.10	m3	36,500	3,650	
組立マンホール設置工	1号マンホール H=3.0以下	2.00	箇所	33,500	67,000	
管口土止	φ200モルタル仕上げ	4.00	箇所	6,000	24,000	
インバーンモルタル仕上げ	30mm	0.45	m2	17,500	7,875	
インバーンコンクリート打設	人力打設	0.10	m3	41,600	4,160	

[illegible]

御 見 積 書

令和5年11月1日

大阪IR株式会社 御中

御見積金額 ￥945,670

内訳 工事金額 ￥859,700 消費税相当額 ￥85,970 合計金額 ￥945,670

上記の通り御見積り申し上げます。

大阪・夢洲地区特定複合観光施設用地に係る
工 事 名 土地改良事業・液状化対策工事(地盤改良工事)
工事場所 大阪市此花区夢洲ロー丁目地内
決算条件 御協議の上
有効期限 御協議の上

検 印	検 印	作成者

備 考

TEL
FAX

内訳明細書

P.1

税込み合計金額 ￥945,670		税率 10% 消費税額等 ￥85,970			
項 目	数 量	単 位	単 価	金 額	指 要
直接工事費					
機承掘削 簡易矢板建込あり	54.1	m ³	2,200	119,020	
ダンプトラック運搬工 4車	12.5	m ³	1,560	19,500	
機液投入埋戻工 簡易矢板引抜あり	41.6	m ³	3,380	161,408	
砂基礎設置工 材工共	5.5	m ³	5,160	28,380	
硬質塩化ビニル管設置工 φ200	17.4	m	4,760	82,824	
既設人孔掘削 0.2m~0.4m未満	2	孔	14,510	29,020	
基礎碎石 17.5cm~20.0cm以下	3.5	m ³	1,720	11,180	
敷モルタル モルタル配合:3	3.1	m ³	36,500	3,650	
組立マンホール設置工 二号マンホールH=3.0以下	2	箇所	33,360	67,320	
管口仁ニ φ200モルタル仕上げ	4	箇所	6,320	25,280	
ポンパートモルタル仕上げ 30mm	0.45	m ²	17,320	7,929	
ポンパートコンクリート打設 人力打設	3.1	m ³	40,550	4,065	
ポンパート月リブ管設置工 φ200	1.8	m	4,780	8,604	
アルミ矢板建込引抜工 H=3.0m以下	22	m	4,760	104,720	
アルミ矢板等損料	1	式	186,800	186,800	
小 計				¥859,700	